

「昨年を振り返り、新年を迎えて」

施設長 服部宗弘

新年を迎え、皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、昨年はほほえみ工房へのご理解ご協力していただき感謝申し上げます。

昨年は、暴風雪、台風や地震といった自然現象に翻弄された1年でした。とりわけ、9月6日の震度7胆振東部地震による停電に直面しました。地震直後に停電となり、利用者やGHのことを心配しましたが、ほどなくGH8か所の利用者全員の安全確認の連絡が入り一安心。現場での迅速な対応に日頃の体制の成果が現れました。工房は停電でしたが、幸いなことに水道、ガスは使用可能で物的な被害はなく、安堵しました。緊急ミーティングを行い、厨房が稼働できることから、通常通り開所することを決定。利用者さんも出勤し、電気がなく不便でしたが、できる仕事を協力して行いました。次の日7日は楽しみだった工房旅行でしたが、高速道路は通行止め、見学先、昼食会場も閉店のため中止し、厨房も稼働しないため臨時休業となりました。停電が長引いた場合の対応、GHの食材確保、冷凍庫の食材対応、電池の確保など職員全員でこの難局を乗り越えようと努力しました。6日は復旧せず、GHの利用者は夜勤者が配置されていることもあり不安な中にも落ち着いて一夜を過ごせました。7日の昼にはGH1か所が復旧し、全員集合で昼食。その後順に復旧し、夜には全てGH、工房が復旧しました。

今回の経験で停電時の不十分な対策・備蓄食料など多くの課題が浮き彫りになり、今後しっかりとした対策が必要なることを痛感しました。備蓄食料などはすぐに着手し完了したが、非常電源の整備などは計画的にすすめていきたいと考えています。

また余談ですが、週明けに上厚真町の友人の小学校教員から避難所の障害児ボランティアの要請があり、行ってきました。厚真町に入ると山肌が崩れていたり、道路の陥没、橋は通行止めで迂回をしながら小学校に到着。教員も避難所対応や自ら被災するなど人員不足で障害児への支援は難しい状況でした。ボランティアが入ることでお母さんが自宅の片付けや被災手続に行くことができるのとこと。障害児の支援を1日行いましたが、地域でさえあう重要性と滝川で起きた時の、避難所難民と呼ばれる障害者や弱い立場にある方々を支えることができるのか、すべきことはたくさんあると考えさせられました。支えつつ支えられる共生社会の実現は始まったばかりです。この地震でお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災者へのお見舞いを申し上げます。また一日も早い復興を願うところです。

今年度、新しい取り組みの土曜開所等については課題もありませんが進んでいます。また地域貢献活動として地域食堂にも法人として参加しています。滝川市自立支援協議会設立の準備も中心となり進めています。しかし新施設・GH新設は、資材高騰による建設費の資金計画に課題があり立ち止まっている現状です。課題は山積しておりますが、常に地域の意識をし、利用者さん、職員一同皆で協力しながら一歩一歩着実に歩みたいと思います。

今年も皆様に当工房へのご理解ご協力をお願いし、この新しい年がより良き年でありますよう心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



12月23日、24日、滝の川地区が中心となった地域食堂に参加しました。24日にはニューハーフショーが！！参加したGHの利用者の方々も楽しんでいました。

藤森	男澤	赤平	有限会社	株式会社	滝川市	深田	石屋	第一興産	ご寄贈・ご寄付
伸一	紙	製	社	株	社会	商店	製菓	株式	ありがとうございます
	株式	紙	スク	友	福祉		株式	社	
	会社	株	レ		協		社	一	
		式	ール		議			友	
		会			会			会	
様	様	様	様	様	様	様	様	様	

編集後記 新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお祝い致します。今年も雪が少なく過ごしやすいたくさんの方々が、お正月を過ごせたのではないのでしょうか。新年早々、空知管内でもインフルエンザが流行ってきているようです。体調管理には皆さんも十分お気をつけ下さい。今年もほほえみ工房通信をよろしくお祈りいたします。 広報委員一同

ほほえみ工房通信

新春号



ほほえみ

平成31年1月22日発行

社会福祉法人 滝川ほほえみ会

発行責任者 服部 宗弘

E-mail : info@hohoemikai.net

<http://www.hohoemikai.net/>

〒073-0003

北海道滝川市滝の川町西5丁目4番28号

TEL 0125-24-3595

FAX 0125-24-3596

「喜ばれる法人をめざして」

理事長 川原 恭二

平成31年の年頭にあたり、皆様に謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は「滝川ほほえみ会」の運営にご理解ご協力を頂き心より感謝と御礼を申し上げます。

9月6日未明に発生した「平成30年北海道胆振東部地震」では、各地で人的被害及び、家屋の倒壊、液状化現象等が発生し、甚大な被害を受けました。被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。道内全域で停電(ブラックアウト)、ライフラインが寸断され、大きな混乱が発生しました。この教訓を生かし、改めて防災について考え、お互いに学び合いながら、皆で支え合える体制を準備していきたいと思えます。

さて、本年は平成の終わり、新年号が始まる記念すべき年です。亥年は「新たな始まりに向けて準備を行う期間」という意味があるようですが、当法人も「新規事業の開拓」「バリアフリー対応型のGHの建設」などに向けてしっかりと準備し具体的作業につなげていきたいと思っています。物の本によると、私たちが生まれてきた目的は「いかに喜ばれる存在になるか」ということ。それは、つまり「いかに頼まれやすい人になるか」ということだそう。頼まれごととは、自分で汗をかいて、その人の要望に応えることをいいます。私たちが利用者の皆様そしてご家族の皆様へ、何事も頼まれやすく、喜ばれる法人になることを目指し行きたいと考えています。昨年末の今年の漢字一文字は“災”という字でしたが、“わざわてん 福となす”という言葉がありますが、“福のある年”になることを皆さんと共に念願したいと思います。本年も変わらぬ、お力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが悲しい報告があります。ほほえみ工房の2代目の所長としてご活躍いただきました徳山 満先生が昨年12月23日にご逝去されました。心からお悔やみ申し上げます。そして、ありがとうございました。



平成30年9月29日(土)にふれあいの集いに参加しました。今年もステージ発表と出店をさせていただきました。出店では製菓品が完売するなどたくさんの方々にご購入いただきました。ありがとうございました。当日は工房でジンギスカンも行い、利用者の方々も何度もおかわりする等楽しいひと時を過ごしたようです。

かんべくみさま 神部組様 ありがとうございます

昨年、神部組が工房内駐車場の白線の塗り直りを無償で行ってくれました。現在の工房ができてから初めての塗り直しでした。当日作業開始後、悪天候で作業が中断。後日改めて作業に来て頂きました。お忙しい中、本当にありがとうございました。この場をおかりして改めて御礼申し上げます。



